

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	放課後ルーム事業			事業番号	038-084
担当部署名	教育委員会事務	局	地域教育支援	部	放課後子ども支援課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(1) 妊娠から学齢期まで切れめのない子育て支援の充実	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	③学齢期・青少年期の子ども・若者と家庭への支援			
		有・無	指標名	放課後児童対策等事業にかかる待機児童数				
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	目標	2人(2020年度)	目標値	0人(2025年度)	
		寄与するKPI	有	取組	—	ターゲット	—	
		有・無	指標名	—				
有・無	現状値	—						

2	関連計画	堺市子ども・子育て支援事業計画、堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン			
3	事業開始年度	平成 17 年度	点検対象年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	堺市放課後ルーム事業実施要綱			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	開設小学校区に在住している4年生から6年生の児童	対象数	単位	
			199	人	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	放課後、週末等に小学校の施設等を利用して、学習活動を中心に様々な体験活動、交流活動等の場を提供することにより、自ら学び、考え、判断し、及び行動する能力の発達を支援する。			
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施校数：6校（令和4年4月時点） ■開設時間：月曜日～金曜日 放課後から午後6時まで。 土曜日・長期休業期間午前9時～午後6時まで。夏季休業中は午前8時30分～午後6時（利用時間延長制度利用者のみ、午後7時まで延長） ■負担金4,000円（8月のみ6,000円）、減免制度なし 			
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	—			
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—			
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	(株) 明日葉、新湊小学校放課後ルーム運営委員会			
10	公民連携・協働事業	—			

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	人	実績		目標	目標
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	点検対象年度
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
				目標値	0	0	0
	実績値	0	0	0			
達成率	100%	100%					
	当該指標を選定した理由	待機児童数を発生させないことを目標とし、子育て支援の充実を図るため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	各年度の待機児童数。					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	校	実績		目標	
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				目標値	0	0	0
	実績値	0	0	0			
達成率	100%	100%					
	当該指標を選定した理由	活動場所確保の成果である定員が、各校における利用児童数を上回ることが必要なため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	各校における利用児童数が、活動場所確保の成果である定員を超過した校数。					

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	放課後ルーム事業	事業番号	038-084
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	103,318	76,939	102,845	73,024	61,040
財源					
国支出金	16,038	9,637	14,704	8,965	8,814
府支出金	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0
その他 ()			0	0	0
内訳					
受益者負担金(使用料、手数料等)	11,918	12,095	15,822	9,601	7,576
一般財源	75,362	55,207	72,319	54,458	44,650
14 人件費 (b)	7,640	7,640	7,640	7,640	7,560
15 年間経費(c)=(a)+(b)	110,958	84,579	110,485	80,664	68,600

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費		うち一般財源	項目	年度	事業費		うち一般財源
		R4	R5				R4	R5	
16 事業費内訳	放課後ルーム事業運営業務	R4	決算 72,991	54,425	印刷製本費	R4	決算 33	33	
		R5	予算 60,465	44,075		R5	予算 55	55	
	通信運搬費	R4	決算 0	0		R4	決算		
		R5	予算 350	350		R5	予算		
	施設・物品等修繕料	R4	決算 0	0		R4	決算		
		R5	予算 44	44		R5	予算		
手数料	R4	決算 0	0		R4	決算			
	R5	予算 73	73		R5	予算			
消耗品費	R4	決算 0	0		R4	決算			
	R5	予算 53	53		R5	予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
① 利用児童数	人	257	199
② 上記①にかかる年間経費	千円	84,579	80,664
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	329,101	405,347
備考 (算出についての説明等)	—		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<ul style="list-style-type: none"> ■ 委託費の大部分は指導員の人件費として運用した。 ■ 施設等については学校の協力のもと主に図書室を放課後の時間に借用し、事業の実施を行うことで施設使用料等の費用を抑えることができている。 ■ 今後、国の動向等を踏まえながら、類似事業との整理・統合を進め、適切な事業形態への移行を推進する。 ■ 本事業は、国費及び受益者負担金も活用したものであり、市単費で実施していないことから費用対効果は高いと考える。
----	---

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	<ul style="list-style-type: none"> ■ 待機児童数0人の実現について 図書室のほか学校協力のもと共用教室の確保に努め、学校施設の有効活用を行うことで、希望者のすべてが利用可能となった。 ■ 利用評価について 令和4年度は全事業の全利用者を対象としたアンケートの実施により、広く利用者の意見等を得ることで、運営事業者に対し各ルームの状況に応じた助言・指導を行うことができた。
----	---